

表紙のことは

山村 隆政 「ウクライナの平和」



頸髄損傷になってから車いす生活になり、思うように身体を動かすことができません。長年やってきた絵を描くことも、ペンを持つことさえできなくなりました。絵を描くことをあきらめていましたが、リハビリを頑張る、今の身体でできることにたくさん挑戦しました。この絵はソフィア・ローレンの『ひまわり』という映画からインスピレーションを受けて描きました。

この身体になってから約5年、“描く”ことをリハビリも兼ねて継続してきたことや妻の応援のおかげで、大好きな絵を再び描くことができるようになりました。これからも自分らしい絵を描き続けていきたいです。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



南保 俊秀 「カブトムシ」

ボールペンで鉛筆画みたいに立体的に描いた絵をテレビでたまたま観て驚き、それから自分もやってみたところ、案外とそれらしく描けました。

病院に入院中、暇に任せ、数枚動物の写真をしながら描いているうちにくせになりました。

このカブトムシの絵は図鑑を見ながら描いたもので、細部の細かな足などを見ていると感心します。

ボールペン画は、筆圧の強弱で立体的に描くのは鉛筆と同じですが、消しゴムが使えず、その点を工夫しております。猫、犬、リス、その他いろいろ描いています。

(代筆：担当 OT 小砂)